



SUN なつと。

自然に生かされ、人に生かされ
すべてのことに感謝の日々
これからも緑の息吹を感じたい



緑の環境クラブ 代表世話人
北田 香菜子さん
Kanako Kitada 学園



ラジオ・ハニー FM でもっと詳しく聴けます! 【6/15 15時10分〜】

- 1 あいさつ運動に取り組む計画委員の5・6年生
- 2 あいさつ運動を一緒に盛り上げるハッピーイエロー(左)・ニコレッド(中央)・ラッキーブルー(右)
- 3 ニコレンジャー(写真はニコレッド)とじゃんけん! じゃんけんに勝てると楽しい1日の始まりに
- 4 一人一人の目を見てあいさつするように心がけています

元気に「おはよう！」にこにこデー



「おはようございます!」毎月25日はにこにこデーです。私たち計画委員の5・6年生は、7時50分ごろから学校の玄関前に立ち、あいさつ運動をしています。あいさつは人と人がつながり、笑顔になれる大切なもの。少しでもあいさつが広がり、学校中で笑顔の輪が広がるとういこと思っています。

朝からみんなの笑顔がみられると思ったら、とてもやる気が出るし、早起きもへっちゃらです。「あいさつをしてくれる人が少ないな」、「今日は声が小さいな」、そう思った時には自分から歩み寄って、きちんと一人一人の目

「あいつは「しながり」

平成2年、人口増加率が4年連続日本一となり、人口は6万人を突破。市立図書館など施設が続々と誕生したこの年、富士小学校はフラータウン3つ目の小学校として児童数402人で開校しました。富士小学校のある富士中学校区では、毎月25日を「にこにこデー」と定め、各学校園でさまざまな取り組みを行っています。中でも富士小学校は、あいさつで笑顔の輪を広げようとあいさつ運動を行っています。中心になって運動に取り組んでいる計画委員会の皆さんに自慢を聞きました。

「三田に来たから今の私がいる。これからも緑の息吹を感じて過ごしたい」と話す北田さん。自然への想いが、人と人を結び、新たな道へとつながる。幸せの連鎖を確かなものとしているのは、彼女が積み上げてきた「感謝」の日々に他ならない。「今欲しいのは時間と体力。今後は『子どもの貧困問題』で助けになれることを模索したい」彼女の志は、これからもこのまちに新たな息吹を吹き込む。

市有馬富士森林公園での活動は大変ですが、気持ちよく、心を共にできる仲間と緑に感謝です。加入して驚いたのは環境学習支援まで行っていること。自然を守るため、次の世代につないでいくことの大切さを教わりました。これからも自然のありがたみを忘れることなく、感謝の気持ちを持ち続けたいです。

みんなが笑顔に
心強い仲間・ニコレンジャー

富士小のあいさつ運動には、ニコレンジャーという心強い仲間がいます。ニコレンジャーは、あいさつ運動をもっと盛り上げようと4年前に誕生したシンボルキャラクターです。どんなキャラクターにしていくか、名前やイラストを募集してみんなで決めました。そして誕生したのがニコレッド(赤)です。今年の2月には、ハッピーイエロー(黄)とラッキーブルー(青)も増えました。このニコレンジャーは、計画委員会のみんなでコツコツ作り上げていったので、できた時には達成感でいっぱいでした。

あいさつ運動の時にはニコレンジャーとじゃんけんをするのがみんなのお決まり。あいさつが少し苦手でも、ニコレンジャーとのじゃんけんは欠かしません。ニコレンジャーは、富士小みんなのコミュニケーションをつないでくれる大切な存在になっています。これからもニコレンジャーと一緒に、学校中にあいさつを広げ笑顔あふれる富士小にしたいです。



北田さんの熱意に感銘を受け緑の環境クラブに加入した三輪 郷太郎さん

とは最上の喜びだ。クラブを続けるか迷ったとき、仲間からかけられた言葉が忘れられない。「居てくれるだけでいいから。ほっとした。一人じゃないと思えた。」「本当にありがたいこと」その一言に仲間への感謝が詰まっている。

「三田に来たから今の私がいる。これからも緑の息吹を感じて過ごしたい」と話す北田さん。自然への想いが、人と人を結び、新たな道へとつながる。幸せの連鎖を確かなものとしているのは、彼女が積み上げてきた「感謝」の日々に他ならない。「今欲しいのは時間と体力。今後は『子どもの貧困問題』で助けになれることを模索したい」彼女の志は、これからもこのまちに新たな息吹を吹き込む。